

科目名	児童教育理論		
担当教員名	狩野 浩二		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-小学校英語指導者養成課程		
学 年	1	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	小学校英語指導者		

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

位置づけ：短期大学部表現文化学科対象の「小学校英語指導者養成課程」の必修科目である。

概 要：小学校における教育活動の実際について学びます。

目 標：初等教育全般にわたるテーマの学習を通して、教育に対するものの見方や考え方、教師としての仕事について学ぶ。

内容

テキストに沿って、講義をすすめる予定です。以下は、内容の例示です。

順序は変わる場合があります。

1. 小学校とはどんなところか
2. 小学校に通う子どもたち
3. 小学校の先生
4. 小学校の教育内容
5. 小学校の教育方法
6. ユニークな小学校
7. 授業とは何か
8. 教材解釈
9. 授業分析
10. 指導と評価
11. 教育実践記録の作成
12. 身体表現活動
13. 学校公開研究会
14. 授業の実際に学ぶ
15. まとめ

評価

各回ごとの課題作成(20%)、口頭発表(20%)、レポート(20%)、最終レポート(40%)を総合して評価します。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【テキスト(教科書)】 田嶋一他『新版やさしい教育原理』有斐閣

【推薦書】 斎藤喜博『君の可能性 なぜ学校へ行くのか』ちくま文庫
斎藤喜博『授業入門』国土社

【参考図書】 細谷俊夫、河野重男、奥田真丈、今野喜清編『新教育学大事典』第一法規
悔悟宗臣監修『日本近代教育史事典』平凡社
大田堯、中内敏夫、民間教育史料研究会編『民間教育史研究事典』評論社

科目名	児童心理学		
担当教員名	狩野 浩二		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-小学校英語指導者養成課程		
学 年	1	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	小学校英語指導者		

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

位置づけ：短期大学部表現文化学科対象の「小学校英語指導者養成課程」の必修科目である。

概 要：小学校に通う子どもたちの実情について学びます。

目 標：児童の理解と教育に関わる心理学のテーマやその諸問題の基本について、学童期を中心に学ぶ。

内容

以下の項目を取り上げます(順不同)。

なるべく、実際の教育活動を見る機会をつくりたいと思います。

1. 子どもが悪いのではない
2. 学ぶことと教えること
3. 授業の中の子ども
4. 集団で学ぶことの意味
5. 特別な教育的ニーズ
6. 子どもの描画表現
7. 子どもの歌唱表現
8. 子どもの身体表現
9. 学習指導と生活指導
10. 誤答の真実
11. ちゃん式間違い
12. 集中と開放
13. 子どもの非行にどう向き合うか
14. 子どもを形成する働き
15. まとめ

評価

各回ごとの課題作成(20%)、口頭発表(20%)、レポート(20%)、最終レポート(40%)を総合して評価します。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【テキスト(教科書)】 田嶋一他『新版やさしい教育原理』有斐閣

【推薦書】 齋藤喜博『君の可能性 なぜ学校へ行くのか』ちくま文庫

齋藤喜博『授業入門』国土社

【参考図書】 細谷俊夫、河野重男、奥田真丈、今野喜清編『新教育学大事典』第一法規

悔悟宗臣監修『日本近代教育史事典』平凡社

大田堯、中内敏夫、民間教育史料研究会編『民間教育史研究事典』評論社

科目名	児童英語指導実習		
担当教員名	福田 仁		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-小学校英語指導者養成課程		
学 年	2	ク ラ ス	
開 講 期	通年	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	小学校英語指導者		

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

この科目は、新座市小学校で4日間実施される「英会話実習」の準備として、児童英語指導の理論と実践に関して学びます。前期は理論を中心とし、後期に学生による模擬授業を中心とした活動を展開します。

小学校英語指導者認定協議会(J-SHINE)の指導者資格を得るためには、必ずこの単位を履修しなければなりません。

内容

前期

1. 小学校における英語活動の意義
2. 関連分野から見た小学生の特徴と英語活動のありかた、進め方
3. 英語活動で目指すもの 学習指導要領とカリキュラムづくり
4. よりよい英語活動を展開するために
5. 学習指導案の作り方と工夫のポイント
6. 英語活動を豊かにするアクティビティと指導方法
7. 児童を生き生き動かす環境づくりと指導技術
8. 学習意欲を高める評価の進め方
9. 指導者に求められる資質と研修
10. 小・中の連携
11. これからの小学校英語活動の展望
12. 小学校英会話実習
13. 新座市の小学校英語教育
14. 小学校英語指導者資格
15. まとめ

後期

後期は履修学生一人ひとりが、指導案をもとに模擬授業を行います。模擬授業後は、クラスで学生による相互評価をしながら、授業の改善を目指します。

評価

毎回の課題(30%)、模擬授業(40%)、試験(30%)

60点以上を合格とします。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

樋口忠彦他 『小学校英語教育の展開--よりよい英語活動への提言』 研究社